

## 三鷹市競争入札参加者選定基準

### 第1章 総則

#### (趣旨)

第1条 この基準は、三鷹市契約事務規則(昭和39年三鷹市規則第14号。以下「規則」という。)に定めるもののほか、三鷹市が行う競争入札に参加する者の選定について必要な事項を定めるものとする。

#### (格付)

第2条 格付は、三鷹市競争入札参加資格者名簿(以下「資格者名簿」という。)に登載された者について、別表第1に定める基準(以下「格付基準」という。)により行う。

#### (入札の中止)

第3条 市長は、入札の実施に当たり連合その他不穏な行動があり、又はその疑いがある場合において、入札を公正に実施することができないと認めるときは、当該入札を延期し、又は中止する。

### 第2章 制限付一般競争入札

#### (対象案件)

第4条 制限付一般競争入札は、原則として、工事請負(以下「工事」という。)並びに委託及び物品購入その他(以下「委託等」という。)の契約において、いずれも1件の予定価格(単価契約にあつては支出予定額)1,000万円以上の案件について実施する。

#### (参加要件及び告示)

第5条 制限付一般競争入札に参加しようとする者は、地方自治法施行令(昭和22年政令第16号。以下「政令」という。)第167条の4の規定に定めるもののほか、次に掲げる要件を満たしていなければならない。

#### (1) 工事

- ア 資格者名簿に登載されていること。
- イ 三鷹市において指名停止を受けていないこと。
- ウ 経営不振の状態にないこと。
- エ 入札の対象となる業種と同種の工事实績を有すること。
- オ 建設業法(昭和24年法律第100号)第27条の23第1項に規定する経営事項の審査を受けていること。
- カ 三鷹市発注工事における工事成績が不良でないこと。
- キ 一の案件に事業協同組合又は当該組合の組合員が参加しようとする場合は、当該組合の組合員又は事業協同組合でないこと。
- ク その他市長が必要と認めること。

(2) 委託等

委託等については、工事の規定の例による。

- 2 市長は、対象案件ごとに前項に規定する要件を告示しなければならない。  
(地域貢献度等に対する評価)

第6条 市長は、前条の参加要件に加えて、次に掲げる者に一定の配慮をすることができるものとする。

- (1) 三鷹市内に本店・支店・営業所等を有し告示日において2年以上営業を継続している者及び東京都内に本店・支店・営業所等を有し告示日において1年以上営業を継続している者等
- (2) 工事に係る制限付一般競争入札に参加しようとする者で、三鷹市発注工事における工事成績（評定）が特に優秀な者
- (3) 三鷹市と災害時における支援等に関する協定を締結している者で活動の実績を有する者
- (4) 三鷹市と市道維持補修又は下水道維持管理に係る緊急工事の契約を締結している者
- (5) ISO（国際標準化機構）の認証取得者等市長が特に必要であると認める者

(参加の申請、審査等)

第7条 制限付一般競争入札に参加しようとする者は、制限付一般競争入札参加資格申請書その他の必要書類を市長に提出しなければならない。

- 2 市長は、前項の書類により第5条の要件を満たしているかどうか審査するものとし、その結果、参加に係る要件を満たしていないと認めた者に対し、その理由を示し、通知する。

(参加資格の喪失)

第8条 市長は、前条第2項の審査後において、参加要件を満たす者（以下「入札参加資格者」という。）が次の各号のいずれかに該当することとなった場合は、当該入札参加資格者を当該制限付一般競争入札に参加させてはならない。

- (1) 政令第167条の4に該当することとなったとき。
- (2) 前条第1項の書類に虚偽の事項を記載したことが明らかになったとき。
- (3) 三鷹市指名停止基準による指名停止を受けることとなったとき。

- 2 市長は、前項の規定により入札参加資格者を制限付一般競争入札に参加させない旨決定したときは、当該入札参加資格者に通知するものとする。

(設計図書等の閲覧等)

第9条 対象案件の設計図書等の閲覧は、規則第6条の規定による公告の日から入札の日の間において、期間を定め、制限付一般競争入札に参加しようとする者に対して、貸出し又は郵送、ファクシミリ若しくは電磁的記録等の送付に

より行う。

- 2 制限付一般競争入札に参加しようとする者は、設計図書等の内容に疑義が生じたときは、質疑応答書により質問することができる。

(入札の実施)

第10条 市長は、第7条第2項の審査終了後、入札参加資格者が1人以上ある場合は入札を実施する。

- 2 市長は、入札の実施に当たって、入札参加資格者について第8条第1項の規定に該当していないかどうか確認するものとする。

### 第3章 指名競争入札

(対象案件)

第11条 指名競争入札は、原則として、工事及び委託等とも1件の予定価格(単価契約にあっては支出予定額)1,000万円未満の案件について実施する。

(選定)

第12条 工事に係る指名競争入札に参加させる者の選定は、別表第2に定める格付等級区分及び予定金額により行う。ただし、指名業者数が基準を満たさない場合等市長が特に必要があると認めるときは、発注案件の予定金額に対応する等級の直近上位又は直近下位の等級に属する者を選定することができる。

- 2 等級を定めない業種については、共同格付の順位等を考慮して選定する。
- 3 委託等に係る指名競争入札に参加させる者の選定については、第1項及び前項の規定の例による。
- 4 指名業者の選定に当たっては、資格者名簿に登録されている者について、次の事項を審査するものとする。
  - (1) 指名時における経営及び信用の状況
  - (2) 三鷹市における指名及び受注の状況
  - (3) 三鷹市における既発注案件の履行状況
  - (4) 発注案件についての技術的適性
  - (5) 三鷹市、他官公庁及び民間における受注実績の有無
  - (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項
- 5 第5条第1項及び第6条の規定は、指名競争入札における指名業者の選定について準用する。

(指名業者数)

第13条 指名業者数は、原則として別表第3に定めるところによる。ただし、発注案件の内容又は目的により別表第3の規定により難しいときは、指名業者数を増減して指名することができる。

### 第4章 雑則

(委任)

第14条 この基準に定めるもののほか、競争入札の実施に必要な事項は、三鷹市競争入札等審査委員会規則（昭和40年三鷹市規則第4号）第1条に規定する三鷹市競争入札等審査委員会に諮り決定するものとする。

附 則

- 1 この基準は、平成18年1月16日から施行し、同日以後に告示又は指名する競争入札に適用する。
- 2 三鷹市制限付一般競争入札実施要綱（平成6年4月1日施行）、三鷹市工事請負指名競争入札参加者選定基準（昭和63年9月10日施行）は、廃止する。

附 則

この基準は、平成19年11月1日から施行し、同日以後に告示又は指名をする競争入札に適用する。

附 則

この基準は、平成22年4月1日から施行し、同日以後に告示又は指名をする競争入札に適用する。

附 則

この基準は、平成24年4月1日から施行し、同日以後に告示又は指名をする競争入札に適用する。

附 則

（施行期日等）

- 1 この基準は、令和3年4月1日（以下「施行日」という。）から施行し、同日以後に告示又は指名をする競争入札に適用する。

（準備行為）

- 2 この基準による市内業者及び準市内業者の認定に係る手続その他の行為は、施行日前においても行うことができる。